



## 整形外科のはなし



整形外科

古川 裕和



整形外科というのは運動器の病気やけがを治療し健康を守る診療科です。

運動器とは、骨・関節・靭帯(じんたい)、筋肉、脊椎脊髄(せきついせきずい)、手足の神経・血管などの総称です。骨が折れた、関節が痛い、手・足や背骨など身体のどこかに痛みや痺れがある場合、けがをした時などが整形外科の診療範囲になります。新生児から超高齢者まで、あらゆる運動器とは生涯のつきあいです。人はみな立つ、座る、かがむ、歩くといった日常生活と無縁ではられません。そして、そうした運動器の動作に「おや？」と感じるようなことがあった時、それが整形外科医の出番というわけです。疼痛や機能障害を改善し、QOL(Quality of Life「生活の質」)の向上に寄与することを理念に掲げ日々の診療を行っています。具体的にはスポーツ・交通事故・労働災害に代表される骨折・打撲・捻挫・腱断裂などの外傷。いわゆる肩こりや腰痛、四十肩、加齢による変形が原因の変形性関節症や変形性脊椎症、骨粗鬆症、関節リウマチ、痛風などが当てはまります。

当院では系統的に診断・治療を行い、計画的なリハビリテーションの実施。また、薬物療法・運動療法・ブロック注射・ギプスやコルセットなどの装具療法を中心とした保存療法と手術的治療についてわかりやすく説明し、患者様にとって最善の治療ができるよう配慮しています。

さて、近年では少子高齢化が問題視され、今後ますます進むと言われていています。高齢化に伴い歩行、移動能力の低下。それによる転倒や閉じこもりなど日常生活での障害を伴う疾患をロコモティブシンドロームと呼びます。重症化を防ぐために運動器リハビリテーションなどの介入が大切です。

運動器障害は徐々に進行することから、自分で気づくことが大切です。骨、関節、筋肉、靭帯などの運動器の健康に普段から注意して生活していただけるよう願っています。

お悩みの事、お困りのことがございましたら是非ご相談ください。

| 整形外科外来 |    |             |    |    |    |    |
|--------|----|-------------|----|----|----|----|
|        | 月  | 火           | 水  | 木  | 金  | 土  |
| 午前     | 大堀 | 飯田<br>(予約制) |    | 荻原 | 竹本 | 西潟 |
|        | 木村 | 古川          | 木村 |    |    | 古川 |
| 午後     |    | 大堀          | 佐野 | 荻原 | 竹本 |    |



### 部 署 Vo.6

### 紹 介 ~ 手術室 ~

当手術室は部屋数2室で年間約1600件の手術を行っています。主な手術症例は、整形外科・外科・形成外科・泌尿器科などです。緊急手術も受けており、勤務時間外や土・日・祝日などには待機制を設けて対応しています。多忙な日常業務ですが、患者様の安全第一を念頭に取り組んでいます。

手術を受けられる患者様が安心して、不安なく手術を受けられるよう、スタッフ一同、日々探求心を持ち、高度な技術、知識を得る努力をしています。

伏屋 美奈子



#### 病院理念

地域の中核病院として、安全で質の良い医療を提供します。

#### 基本方針

1. 私たちは、患者様の人権を尊重し、理解と同意のもと満足いただける医療を提供します。
2. 私たちは、他の医療福祉施設と連携を図り、地域住民の健康を確保するための医療を提供します。
3. 私たちは、医療の質を向上するために自己研鑽します。



当院は、敷地内(駐車場含む)禁煙です。ご理解、ご協力の程お願い致します。

# 当院の取り組み

私達の日常業務は、感染に曝される機会が極めて多い現状です。胃腸炎やインフルエンザなど季節性のある感染症対策に留まらず、常日頃の接触感染予防対策は万全であるのかを振り返ることは重要です。

安全で清潔な環境を保持する取り組みとして、手洗い教材を用いた実技研修を定期的を実施しています。長年培ってきた自身の手洗いの“くせ(習慣)”を知ることは、効果的で正しい手洗い方法を再学習する良い機会となっています。

橋本 由美子



手洗いチェッカーで、きちんと手が洗えているか確認します！

洗えてないところは白く光ります！



## 感染対策

◎手洗いのポイント



“効果的な手洗い”できていますか？手洗いといういは感染予防の基本です。この機会にご自身の手洗いを見直してみましょう！

## 退院後在宅訪問

退院後、在宅療養を始めてみると「想像していたのと違って」「こういう時はどうしたらよいのだろうか？」など様々な疑問や不安がでてくることがあります。

当院では、継続的に医療行為や介護が必要な患者様が、安心・安全に在宅療養を継続できるようにするため、退院後のご自宅へ看護師が訪問し、全身状態の確認、医療行為に関する手技の確認、医療や療養・介護に関する相談にのっています。

退院後1か月以内に5回を限度として訪問することができ、費用は、1回の訪問につき各種健康保険負担割合に準じ、1割ご負担の場合580～600円程度になります。現在までに、ストマのある方、酸素療法をされている方、認知症で独居の方等の訪問をさせて頂いております。患者様・ご家族様からは、「少し安心しました」との声をいただいております。病院の看護師にとっても訪問させていただくことにより、「在宅での療養の現状を知ることができ、良い機会になった」「在宅仕様の指導を入院中から行う必要性がわかった」との声もあり、今後の看護の質の向上にもつなげていけると考えています。

対象の方には、病棟看護師または相談員よりお声かけさせていただきます。ぜひご利用ください。

荒井 伊都子



## 病院パンフレット・入院パンフレットをリニューアルしました！！



この度、病院パンフレットと入院パンフレットを新しくしました。以前よりもわかりやすく、多くの情報をお届けできるかと思えます。院内のラックに設置してありますので、是非お手にとってごらんください。

診療統計 平成28年10月～12月(月平均)

|             |                 |
|-------------|-----------------|
| ■ 外来延べ患者数   | 17,383名(5,795名) |
| ■ 入院延べ患者数   | 16,204名(5,402名) |
| ■ 一日平均外来患者数 | 235名            |

|         |            |
|---------|------------|
| ■ 救急搬入数 | 659名(220名) |
| ■ 紹介患者数 | 584名(195名) |
| ■ 手術件数  | 403件(135件) |
| ■ 内視鏡件数 | 425件(142件) |